物部川について考えよう

▲物部川の濁流を問題提起する劇

２月９日、高知工科大学で**なんで濁っちゅうが？物部川**が開催され、約２５０人が参加しました。

この催しは**物部川２１世紀の森と水の会**などの主催で行われ、物部川の現状が、劇や映像、語りなどで子どもにも分かりやすく伝えられました。また、佐岡小学校の全校児童による環境学習の発表も行われました。

昼食にはシカ肉カレーやシカ焼き肉が振る舞われ、参加者は持ってきたマイ食器でおいしそうに食べていました。

昼食後は、『物部川はだれのもん？』と題して、高知工科大学の学生をパネリストとしたパネルディスカッションが行われました。その後、催しのメインとなるパネルディスカッション『みんなぁの物部川』には、**西村正物部川川祭実行委員長**や**野島常稔香美森林組合代表理事組合長**のほか、物部川を守る活動を行う**アクア・リプル・ネットワーク**の公文女美子さんらがパネリストになり、「物部川流域を守る制度や仕組みが必要」などの意見が交わされました（写真下）。

▲竹の器で提供されたシカ肉カレー

凧揚げ大会開催

１月１３日、**凧揚げ大会**（物部地区公民館主催）が、柳沢グラウンド（物部町大栃）で開催されました。

会場には、同公民館主催の凧作り教室で作った凧を手に、大栃保育園児をはじめ、約８０人が集まりました。

また、昨年物部町内で誕生した赤ちゃんの名前を入れた祝凧（１ｍ）や、今年の干支の巳を描いた大凧（２ｍ）も次々に揚げられました。参加者は何度も凧揚げに挑戦し、新春の青空の下で、快い汗を流しました。昼食には七草女性学級の皆さんの協力により、七草がゆが振る舞われ、参加者は「冷えた体が温められた」と喜んでいました。

入賞逃す！市町村対抗駅伝

１月２７日、**第６１回高知県市町村対抗駅伝競走**（安芸郡市体育会主催）が開催され、４０チームが参加しました。室戸市から安芸市まで西進する８区間４６．５ｋｍで競われ、香美市Ａチームが１３位、Ｂチームが２６位と、昨年に続いての入賞とはなりませんでした。今大会で、今西務選手が１０年連続出場表彰を受けました。

▲各市町村の代表が競う

嗚呼これで最後 チャリティー紅白歌合戦

１月１３日、中央公民館で**第２０回チャリティー紅白歌合戦**が開催され、３４組の出演者が歌と踊りを披露し、会場は観客があふれるほどの盛況ぶりでした。

また、中谷元衆議院議員や尾﨑正直知事もかけつけて歌声を披露し、会場は大いに盛り上がりました。

この催しは、市内のカラオケクラブが主体となる実行委員会が主催し、毎年行われており、集められた出演料・入場料の全額が香美市社会福祉協議会へ寄付されてきましたが、スタッフの高齢化に伴い、今回をもって終了することになりました。

今回は４２万２，６６７円が寄付され、第１回からの寄付金の合計額は８５０万９，１９１円で、寄付金からテレビや軽自動車などが購入され、地域福祉に役立てられました。

▲開場前に展示された軽自動車（１０台目）

▲熱唱する特別出演の尾﨑知事と踊りは紫苑如月さん（紫苑流家元）

中国人留学生 春節に交流

２月１０日、高知工科大学楠目寮で、工科大学の中国人留学生を中心とした、旧正月（春節）を祝う会が開催されました。

留学生手作りの水餃子や四川料理など、多様な中華料理を大学関係者や寮周辺の住民、日本中国友好協会など約６０人の参加者が囲んで新しい年を祝いました。

留学生を代表して大学院生の李志偉さんが「中日関係が大変な時期ですが、民間レベルでは垣根を越えて新年を祝いましょう」と挨拶。参加者は春節の祝いをとおして相互理解を深めました。

▲地域住民と交流を深める工科大寮生

アンパンマンカップ開催

１月１２日・１３日の両日、県立青少年センター（香南市）を主会場に、高知工科大学・山田小学校・香北体育センターなどの県内１７会場で**第１４回四国近県交歓小学生バレーボール大会**（アンパンマンカップ）が開催されました。

この大会は、香美スポーツ少年団**香北バレーボールクラブ**を中心とした実行委員会（五百蔵隆実行委員長・香北町）が主催し、毎年開催している大会で、小学生の大会としては西日本最大の大会です。今回の大会には２２２チーム約２，２００人が参加し熱戦を繰り広げました。

▲会場にはカツオ人間も登場